新聞をより身近に、より親しませるための手立ての工夫

日南市立吾田小学校
教諭　　笠　千晴

○　はじめに

本校は、本年度より新しく NIE 教育実践校の指定を受けた。初年度である本年度は、まず新聞を児童にも教師にも身近なものにし、親しませることに重きを置いた。

1　児童を新聞に親しませるための手立て

（1）　これまでの本校の新聞を置く環境

これまで学校に毎朝届いていた朝日小学生新聞は、全校児童が読めるようにと図書室に置いていた。図書室に毎日担当教諭が持って行き、１週間分を手に取れるようにしていた。しかし、昼休みに図書室へ行く児童のほとんどは本の貸し出し・返却に行く児童で、新聞を手に取る児童はかなり限られていた。また、どの程度の児童が新聞を読み親しんでいるのか、教師が把握することも難しかった。

そのため、前月までの新聞を月別に束にし、各学級で１ヶ月ごとに回覧するようにしていた。回覧する頃には、かなりのタイムラグが発生してしまい、教室で時事のニュースに触れることは難しかった。

（2）　児童が新聞を手に取りやすい環境整備

NIE 教育実践の指定校となった本年度、まずは新聞を置く環境整備から始めた。図書室だけに置いていては手に取りにくいという反省から、各教室にも新聞を置くことにした。発達段階を考慮し、以下のように配置計画を立てた。

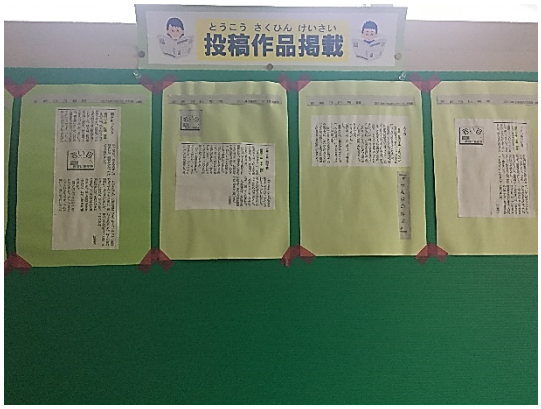
学年	配置する新聞の種類	備考
１年	宮日こども新聞	３学級のため、３週に１度⇒学年内で回覧
２年	宮日こども新聞	３学級のため、３週に１度⇒学年内で回覧
３年	朝日小学生新聞	１日おきで届く
４年	各新聞	ほぼ毎日届く
５年	各新聞	ほぼ毎日届く
６年	各新聞	ほぼ毎日届く

各学級への配布物を入れる棚に、担当が毎朝新聞を入れる。各学級の当番や係の児童がその新聞を学級へ持って行き、学級での保管となる。今年度は学級から学級への回覧はせずに、学級で保管、活用方法は学級に任せた。そうすることで、スクラップ等活用の幅が広がった。

（3）作品投稿の啓発

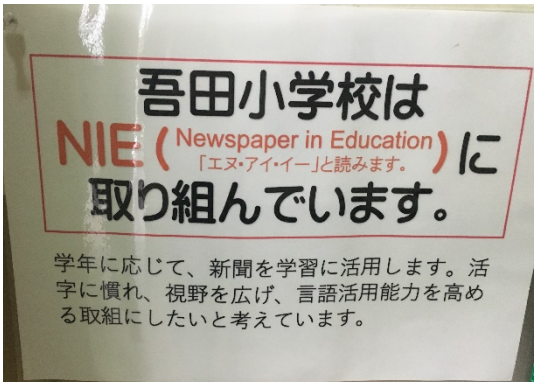
宮崎日日新聞の窓欄への作品投稿の啓発を行った。作品作りのコーナーを各校舎に設け、主体的に児童が作品投稿できるようにした。児童は、季節の変化等から感じたことを作文や短歌・俳句に表現し、自主的に投稿する。

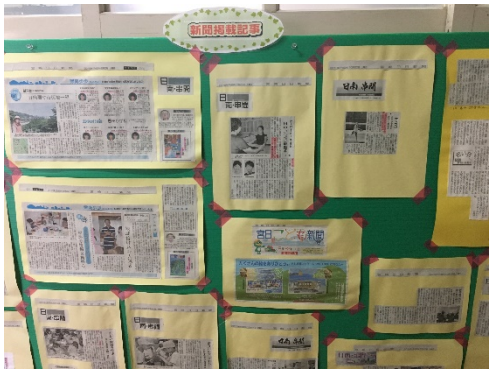
掲載された作品は、「投稿作品掲載」コーナー掲示に掲示した。



（4）来校者向けへのPR

来校者に向けて、NIE に取り組んでいることを知っていただくために、玄関付近に、新聞に掲載された記事を掲示するコーナーを設けた。



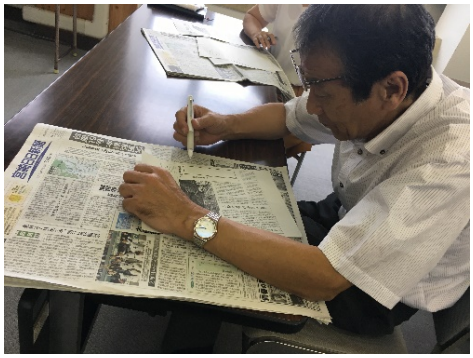


2　職員がNIE に取り組みやすくするための手立て

（1）職員へのNIE 研修

新聞が届き始める９月を前にして、夏季休業中８月22 日に全職員を対象としたNIE 研修を行った。教職員がまずは、新聞を手に取り、身近に感じなければNIE 実践は難しいと考えたためである。宮崎日日新聞社日南支社長　俣野秀幸さんを講師に招き、研修を行った。「なぜ今NIE なのか」、新聞社の仕事などを分かりやすく熱く教えていただき、充実した90 分となった。

【全職員を対象としたNIE研修】



【全職員を対象としたNIE研修】

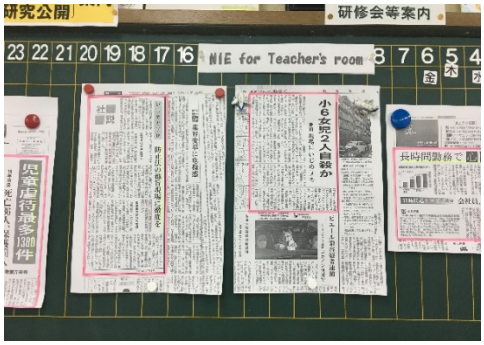
研修を終えての感想

○　新聞を読むことのメリットを知りながらも、読めていませんでした。子どもたちに新聞を読んでもらうためにも、まずは教師自身が読むべきだなと感じました。新聞の切り抜き、感想を本格的にやっていきたいです。

○　「なぜ今NIEなのか。」「新聞社の記事・新聞の見方」等、項目立てて分かりやすく説明頂きありがとうございました。校長として、NIEの推進を非常に重要だと考えつつ、具体的に踏み出す機会を模索していたここ数年に、光がさしたような感じです。
最初から無理をせず、自然な形で新聞が無料で数紙届くのをきっかけとして、吾田小でも、NIEが推進できたらと考えています。

（2）職員が新聞に親しむ手立て

学校や職員に関連する記事を“NIE for Teacher’s room”とし、職員室後方に掲示し、すぐに読めるようにした。教育に関連する記事や、知っておくべき時事の記事を掲示することで、立ち止まり記事を読む機会が増えた。

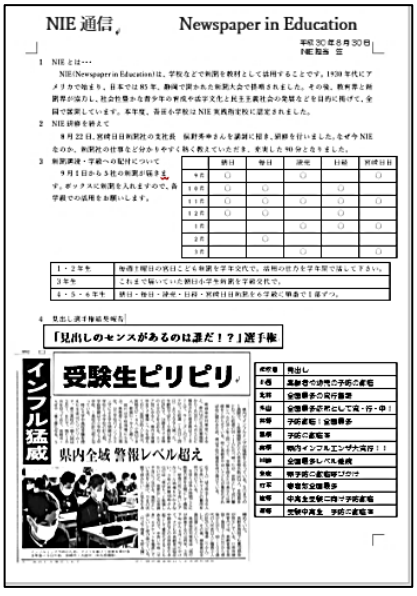


【NIE for Teacher’s room】

（3）NIE通信の発行

NIEについて職員への浸透を図るためにNIE通信を不定期で発行した。NIEについての連絡事項や、各学年の取組などを紹介した。

２年目の次年度は、各学級での具体的な実践やワークシート等も掲載していく予定である。



NIE通信　Newspaper in Education

平成30年6月30日
NIE担当　宮

1　NIEとは…

NIE(Newspaper in Education)は、学校などで新聞を教材として活用することです。1930年代にアメリカで始まり、日本では85年、静岡で開かれた新聞大会で提唱されました。その後、教育界と新聞界が協力し、社会性豊かな青少年の育成や読解文化と民主主義社会の発展などを目的に掲げて、全国で展開しています。本年度、吾田小学校はNIE実践指定校に認定されました。

2　NIE研修を終えて

9月22日、宮崎日日新聞社の支社長　仮野秀申さんを講師に招き、研修を行いました。なぜ今NIEなのか、新聞社の仕事などを分かりやすく熱く教えていただき、有意した40分となりました。

3　新聞講読・学級への配付について

9月1日から5社の新聞が届きます。ボックスに新聞を入れますので、各学級での活用をお願いします。

	朝日	毎日	読売	日経	宮崎日日
9月	○		○		○
10月	○	○		○	
11月	○	○	○	○	○
12月	○	○		○	
1月			○	○	○
2月		○			
3月			○		○

1・2年生	毎週1曜日の朝はこども新聞を学年交代で。活用の仕方を学年間で話してください。
3年生	これまで届いていた朝日小学生新聞を学級交代で。
4・5・6年生	朝日・毎日・読売・日経・宮崎日日新聞を各学級に順番で1週ずつ。

4　見出し選手権結果報告

「見出しのセンスがあるのは誰だ！？」選手権

インフル猛威

受験生ピリピリ

県内全域 警報レベル超え

6月7日	見出し
6月8日	高齢者の通院の子供の運転
6月11日	全国最多の発行部数
6月12日	全国最多が示すもの【社・中】
6月13日	子供運転！全国最多
6月14日	子供の運転
6月15日	県内インフルエンザ大流行！！
6月18日	全国最多レベル継続
6月19日	親子間の運転マナー
6月21日	警報発令全国最多
6月22日	中高生交通ルール守れ運転
6月25日	交通中高生　子供の運転

（4）ワークシートの共有化

読売新聞の読売ワークシートを毎週ダウンロードし、全職員が使いたい時にすぐに使えるように印刷機のすぐそばに置いた。ファイルには、読売ワークシートだけでなく、各学級で使った新聞を活用したワークシート等も入れることで、他学年の実践を知ることができた。

【ワークシートのファイル】

３　次年度に向けて成果と課題

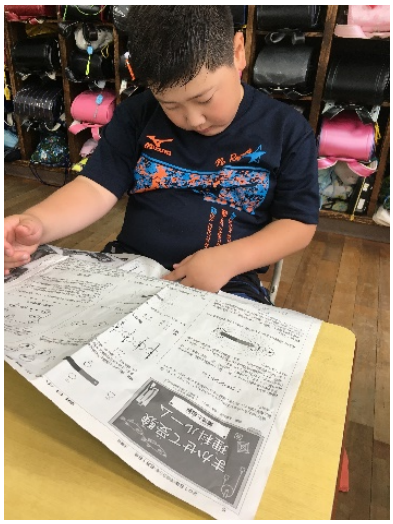
【成果】

- 常に教室に新聞があることで、児童が新聞を手に取る機会が増え、進んで読む姿が見られるようになった。
- 各学年の発達に合わせた取組ができ、新聞に親しむことができた。
- ワークシートに毎週取り組むことで、必要な情報を選択し読み取ることができるようになってきた。

【課題】

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、新聞を活用する機会を計画的に設ける。
- 読解力の向上に向け、具体的な取組(NIE タイム)を図っていく。
- 学級によって取組に差が見られたので、共通実践事項などを決め、学校全体で取り組めるようにする。

【気に入った記事をスクラップする児童】



【休み時間に新聞を読む児童】